

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	ポーター ジョン
(研究テーマ名) 近世・近代移行期における大阪における貧民の救済と統制	
(研究活動実績) <p>本研究では、近代大阪の都市下層社会を分析対象とした博士論文の成果の上に立って、近世大坂の公認非人集団である垣外仲間の解体過程を段階的に捉えるとともに、明治初期大阪の救貧体制の成立と展開を解明することを目標とした。この作業を実現するため、10月から二つの局面より研究を進めてきた。第一に、昨年調査した大阪府立中央図書館所蔵の救貧関連史料の考察を継続しながら、垣外仲間の解体過程と近代大阪の都市下層社会の形成プロセスとの実質的関連性や垣外仲間の旧構成員の都市社会への再統合の実態という二つの課題についての分析を深めようとした。今月末に、その作業の結果を英語圏の最大の東洋学学会である Association for Asian Studies の年次大会で報告するとともに、その報告のベースとなる論文が塚田孝・佐賀朝・八木滋編『近世身分社会の比較史一法と社会の視点から一（大阪府立大学文学研究科叢書8）』の一部として刊行される（①②）。</p> <p>第二に、昨年の秋から幕末・維新时期江戸＝東京における貧民の救済と統制を考察しはじめた。東京都公文書館所蔵の「順立帳」や「会議所伺」を主な材料として用いて、とりわけ江戸＝東京の非人組織の解体プロセスや明治初期における府営救貧事業の展開に着目した。こうした比較史的分析を通じて、近代大阪の救貧体制の普遍性と固有性を浮き彫りにしたいと思っている。昨年の10月23日には、近世大坂研究会でこの研究の初期の成果を発表した（③）。</p> <p>学術雑誌等に発表した論文・解説・総説</p> <p>①「明治初期大阪における貧民の救済と統制」塚田孝・佐賀朝・八木滋編『近世身分社会の比較史一法と社会の視点から一（大阪府立大学文学研究科叢書8）』（清文堂出版、2014年3月刊行予定）</p> <p>学会・研究会等での報告</p> <p>②2013年10月23日「明治初期東京における乞食統制」（近世大坂研究会での研究報告）</p> <p>③2014年3月28日「Poverty Management and Socio-Economic Integration in Nineteenth Century Osaka」（Association for Asian Studies 2014 Annual Conference）〈予定〉</p>	